

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 白百合福祉会
施設名	百合ヶ丘保育園
報告者（役職）	田中 早苗（園長）
住所・連絡先	熊本県合志市須屋 494-1
	☎ 096-342-5239 E-mail yurigaoka2017@outlook.jp

○タイトル

やればできる できなくてもがんばる

○主な助成備品

テクノロマン低鉄棒 ・ 幼児用平均台 ・ 幼児用雲梯 ・ 跳び箱 ・ ミニロイター板
エバニュー屋内すべり止めカラーマット 20cm ・ 10cm

1. 保育計画策定の目的

百合ヶ丘保育園では、「小さなけがをたくさんして、大きなけがをしない子に育てよう！」という、安田式体育遊びの理念に基づいて、日々の保育に積極的に体育遊びを取り入れていき、乳幼児の身体の発達を踏まえたうえで、運動機能の発達をより高める保育を目指しています。

また、園児たちに体を動かす喜びを感じさせ、挑戦する意欲や気持ちの育成に努め達成感を与えることを目的とします。

2. 具体的な実施内容

体験「楽しい！気持ちいい！」

運動の得意・不得意、体格や能力などに関係なく皆が楽しめる簡単な遊びを通して仲間と何度も繰り返し体験することで、保育者から褒められる機会が増え「やってみよう」「出来るようになりたい」という興味関心を引き出す保育。

体感「できそう」

技の達成に必要な動きを体感するための遊びを通して、もう少しでできそうという手ごたえと挑戦したい意欲を高めながら「できそう」というコツを掴む。

体得「できた」

これまでの遊びで積み重ねた経験が、技の体得へと繋がり、より高度な遊びや技へ挑戦する意欲を高め「できた」へと繋がることを目標とする。

未満児クラス 1・2歳児	マットを転がったり、飛び跳ねたりして運動遊びへの興味付けをしていく。体育遊具の楽しさを十分経験させた。
-----------------	---



年少クラス 3歳児	いろいろな体育遊具を使い、体を動かすことの楽しさを教える。また、順番を守る、話を聞くなどのルールも理解できた。
--------------	---



年中クラス 4歳児	得意な科目に自信を持たせ、そこからやる気を引き出す。一緒に活動する事で仲間との協調性が芽生えてきた。
--------------	--



年長クラス 5歳児	運動機能も一段と発達してくる時期なので、走る跳ぶなどの活動から運動器具を組み合わせた複雑な動きへも挑戦することが出来た。
--------------	--



3. その成果と評価

助成いただいた体育遊具での遊びを通して「頑張る力」「できた喜び」「仲間意識」をはぐくむことが出来た。

運動が苦手な子どもも皆と一緒に「やってみよう」という意識が芽生え、「お友達が出来るから、自分もできるのかな」と思い、それにより何度も練習に励み「できた」という成果が表れた。

今後は、遊具を増やし職員研修の機会を増やして子ども達により良い保育環境を提供していきたい。

4. 今後の課題と展望

体育遊具を使った遊びが活発になり、体力増進にも成果がみられたうえに、それにより運動系以外の保育面でも集中力や聞く態度等に向上した子ども達の姿が伺えた。

体育遊びは、正しい用具の使い方や補助の仕方をしっかりマスターして指導に当たらないと危険を伴うので、0歳から6歳までの乳幼児の発達に応じた指導法・補助の仕方や体の発達の弱い部分を促す体育遊びの提案などを積極的に行い、職員の指導力のアップに努めていきたい。

以上